



海外修学旅行では身近な韓国への人気が第一位

# 全国私立高校の修学旅行

## 61年度実施の調査 全修協・都中高協会

### 航空機利用伸びる 海外特に韓国が急増

財団法人全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)と東京私立中等高等学校協会修学旅行研究調査部(新井福之助委員長)が、昨年末に行った第五回全国私立中等高等学校の修学旅行(六十年度)の実態調査がまとまった。注目された六十年度の航空機事故後の利用状況は、多少の影響はあったが、航空機利用増加の傾向は動かなくなると見られる。また、国際化時代を迎えての海外修学旅行は、前回(五十九年度)三十六校から六十校に、なかでも韓国は二二校から三十四校に増加し、近い将来実施したいと考えている学校が四十七校と著しい伸びを示している。調査のあらましは次の通りである。

調査校は二百七十八校、回答校は八百一校、回答率は63%、調査対象年度は六十一年度である。

調査項目は、(1)修学旅行の実施の有無、(2)実施した時期、(3)実施期間、(4)実施学年、(5)主たる旅行先、(6)宿泊地、(7)利用した交通機関A往復路B現地、(8)航空機の利用、(9)旅行費用、(10)旅行業者、(11)現地の自主行動、(12)修学旅行の特色、(13)修学旅行指導計画(立案)、(14)六十二年度の計画、(15)近い将来の海外修学旅行の実施、(16)近い将来の修学旅行、(17)修学旅行受入側に対する要望の各項目であるが、私立高校の修学旅行の動向を把握し、改善向上に資する資料として、広汎な調査を行ったものである。

実施の有無では、回答校八百一校中実施校七百五十五校(94%)、実施しない学校は四十六校で、東京地区十二校、九州沖縄地区十三校が多い。実施した時期は十月の21%、十一月の16%、三月の13%、五月、六月、九月の各10%のほか、各月にわたっている。実施期間(旅行期間)は二泊三日から十日間以上と差が大きい。四泊五日の35%と五泊六日の33%が大を占め、三泊四日の14%、六泊七日の12%がこれに次いでいる。実施学年は、二年生が80%と多く、三年生は18%と意外

地区	実施予定先									
	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	海外	その他
北海道	7	1	4	28	8	1	12	3		2
東北	12	3	6	16	10	1	64	4	5	2
関東	20	7	1	31	44	2	104	1	1	3
中部	2		2	1	1	1	10	1	1	1
近畿	5	3	6	2	11	2	56	2	1	2
中国	5		1	1	2	9	1	1	1	1
四国	31	21	7	1	2	39	4	1		1
九州	3	2	26	19	23	1	19	9	5	
海外	1	1	12	11	1		2	1		
その他	9	3	26	19	23	1	9	8	1	5
全国合計	95	41	85	78	156	85	328	34	14	14
(構成比)	(10%)	(4%)	(9%)	(8%)	(16%)	(9%)	(35%)	(4%)	(1%)	(1%)

利用した交通機関(往復)は旧国鉄新幹線が34%、旧国鉄定期列車10%、貸切バス11%、航空機・片道のみ12%、往復ともが18%、カーフェリー・片道のみが11%、往復ともが3%となっており、新幹線と航空機の利用が増加傾向にあり、航空機事故の影響が薄れてきたとみている。

現地で利用した交通機関の87%は貸切バスである。旅行費用は、三万円代から二十万円以上と格差が大きい。六万円代が9%、七万円代が16%、八万円代が19%、九万円代が16%、十・十五万円代が31%となっている。現地の自主行動は、42%の学校が、半日か一日行っている。

アンケートに表われた修学旅行の特色としてあげられている。なほ、六十二年度の実施予定先は別表のとおりである。

### 会長に石川敏夫氏

関東地区公立中学校修学旅行委員会(飯野昭会長)では、六月五日千葉県において本年度総会を開催した。

### 委員長に萩原克巳氏

東海三県中学校修学旅行委員会(石田俊一郎会長)では、六月五日名古屋において本年度総会を開催した。

### 会長に浜田宏作氏

近畿地区公立中学校修学旅行委員会(土居克己会長)では、五月二十六日宝塚市において本年度総会を開催した。

### 二地区修学旅行 総会開催予告

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会では、昭和六十二年の総会を来る七月三、四の両日、岐阜市において開催する。

六十一年度庶務報告ののち、退任する石田委員長の後任に萩原克巳氏(春日井市立中部中学校長)を推挙し、六十二年委員会を結成し、新年度の事業、予算を決定した。

六十二年の事業、予算を決定した。引き続き、本年十一月二十日に名古屋市内で開催予定の「全国修学旅行研究大会」について、運営等に関する諸問題を協議し、発表校、動員数等を確定し、企画委員会、運営委員会のメンバーを決めて、大会の成功へ向け相互に協力することを申し合わせた。

# 修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会  
発行人 前田 寛  
編集者 千代田 西神田  
印刷所 千代田 西神田  
〒100 千代田 西神田  
電話 (03) 2426-2932  
電報 2426 (東京) 6-36337

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として、学校教育に重要な役割を担っている。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力し、教育効果の充実に努める事は必要であり教育界に果たされた責務である。

### 62年度活動へ 各修学旅行委員会総会ひらく

関東・東海・近畿の各中学校修学旅行委員会では、五月末から六月初めにかけて、それぞれ総会を開催、昭和六十二年の会長および役員、活動方針などを決めた。その概要はつぎのとおりである(開催順、関連記事および役員の名等は、面に掲載)。

### 風紋

最近の修学旅行は体験学習花盛り。盛りの感がある。ここ数年間の新聞記事から二、三ひろってみよう。大阪の一中学生徒たち、半年の努力をかけた、土地のつちづくりから始め、ユニークなデザインで鬼瓦六十六枚製作、長崎への修学旅行の時、被爆者体験談のお礼にプレゼント、合わせて動くことつらさ、楽しさも体験。修学旅行の思い出、大阪府口市の中学校、文化祭で「キリコ(奉灯)」を作り、順番にみんなが担ぎ、後学校に保存。「みんながこんな力を合わせてひとつのものに集中したことはない」とお世辞よりの散策型へ、修学旅行も歩け、歩け、生徒の自主プランによる、五人の班行動、心洗われる旅を求める傾向、寺院での宿泊講話をきく。宗教的なものに触れ、静かに自分を見つめることが求められている。生徒たち(と寺側は)いう。生徒たちの強烈な印象や感動がそうさせるのであろう。大阪府、神戸市、中学校アンケータをみても、体験学習の良かった点としてあげられているのは、○車山登山、八島温泉ハイイク、河口湖周遊、富士五合目ハイイク○原爆体験のききとり、萩市の班別サイクリング、萩焼の実習○柳川の川下り、阿蘇登山○大自然の中の散策(雪遊び、民俗芸能、八方登山)○文部省も生徒中心の新鮮な修学旅行を創造すること、そうした経験の積み重ねを重視するよう動いているが、これらの印象、感動を学校生活の中でいかにして継続、発展させていくかが今後の課題であろう。

信頼される旅づくり

## 先生たちとの修学旅行「いつまでもわすれません！」

生徒の心にあざやかにつづられる、ツーリストの修学旅行。  
先生と、そして友と行った修学旅行。  
かけがえないふれあいが、よき思い出として  
ひとりひとりの心に残る、そんな旅にしたいですね。  
ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する  
修学旅行は、各方面より多大なご好評を得ています。  
それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、  
なんと近畿日本ツーリストにご相談ください。

**近畿日本ツーリスト** 本社 〒101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111代 支店 国内242ヵ所(登録) 海外14ヵ所  
◎運輸大臣登録一般旅行業第20号



生徒指導と特別活動・修学旅行

42

はじめに  
前回の五月号では、「国際理解・国際化のもつ意味」と題して、昭和五十八年の中教審・審議経過報告から昭和六十二年四月の臨時教育審議会第三次答申までについて、それらの内容のうち、「国際理解・国際化」にふれている記述を抜粋し、その意義や目的を概観してみた。

それらの内容をあらためて整理してみると次のようになるところがある。

①国際化への対応の必要性  
これからの国際社会の発展に伴って我が国の果たす役割と責任は重要となり、我が国が世界の平和と発展に貢献していくためには、諸外国との協力・協調が必要である。

②国際化への対応のためのよき国際人としての日本人のありべき資質の内容  
○日本人としての自覚をもつこと、自らのことを知り、自国の文化と伝統を理解すること。

○一人の人間として互いにつきあい、協力・協調のできる精神を養うこと。  
○地域社会において、幅広い国際交流を図ること。  
以上を考察をとおして、次のステップに移りたい。

2、教育課程審議会の「中間まとめ」における「国際化への対応」の記述  
現在、教育課程審議会では、今年十二月の本答申をめざして新しい文化の発展に貢献

○各学校教育を通じて、このような観点から各教科等の内容の改善を図る必要がある。

5、各教科・科目等の内容について  
④我が国の文化と伝統に対する関心と理解を深めるとともに、諸外国の文化に対する理解を深めることを重視する。  
⑤社会の変化を踏まえ、特に国際社会に生きる日本人の育成の観点から、二層重視し、我が国の文化と伝統、世界と日本のかかわりについての理解を深め、世界の中の日本人としての自覚と責任感の涵養に努める。

(特別活動)⑤小学校、中学校及び高等学校については、日本人としての自覚をもつて国を愛する心を育てるとともに、国際社会の一員としての自覚を一層深める観点から、入学式や卒業式などの儀式的行事における国旗及び国歌の取扱いを明確にすることについて検討する。

国際社会に生きる

資質を養う修学旅行(2)

分理解しながら日本人として主体的に行動できること  
○国際感覚をもち、国際社会に通用する人間であること  
③よき国際人を育成するための具体的な方法の例

○様々な国や民族について  
の生きた具体的な知識を与え、世界にいかに関わる生活や習慣、考えが存在するかを教えること

1、教育課程の基礎の改善  
④国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を図ること

文部省教科調査官 高橋哲夫

て、学習指導要領の改善について鋭意検討中であるが、その基礎としている昨年十月発表の「中間まとめ」では、このことについて次のように述べている。

○国際化への対応の必要性  
これからの国際社会の発展に伴って我が国の果たす役割と責任は重要となり、我が国が世界の平和と発展に貢献していくためには、諸外国との協力・協調が必要である。

○国際化への対応のためのよき国際人としての日本人のありべき資質の内容  
○日本人としての自覚をもつこと、自らのことを知り、自国の文化と伝統を理解すること。

○一人の人間として互いにつきあい、協力・協調のできる精神を養うこと。  
○地域社会において、幅広い国際交流を図ること。  
以上を考察をとおして、次のステップに移りたい。

2、教育課程審議会の「中間まとめ」における「国際化への対応」の記述  
現在、教育課程審議会では、今年十二月の本答申をめざして新しい文化の発展に貢献

○各学校教育を通じて、このような観点から各教科等の内容の改善を図る必要がある。

5、各教科・科目等の内容について  
④我が国の文化と伝統に対する関心と理解を深めるとともに、諸外国の文化に対する理解を深めることを重視する。  
⑤社会の変化を踏まえ、特に国際社会に生きる日本人の育成の観点から、二層重視し、我が国の文化と伝統、世界と日本のかかわりについての理解を深め、世界の中の日本人としての自覚と責任感の涵養に努める。

(特別活動)⑤小学校、中学校及び高等学校については、日本人としての自覚をもつて国を愛する心を育てるとともに、国際社会の一員としての自覚を一層深める観点から、入学式や卒業式などの儀式的行事における国旗及び国歌の取扱いを明確にすることについて検討する。

昭和62年度関東地区公立中学校修学旅行委員会 総会開会あいさつ(要旨)

会長 飯野 昭

「目に青葉 山ほととぎす 初鰯」  
青葉が目しみる候となりました。

本日は昭和六十二年総会ならびに第二回研究協議会を開催しましたところ、多数ご参加いただきました。ありがとうございます。また、わが関東地区公立中学校修学旅行委員会は、関東五県の中学校長会の代表によ

つて、重要な学校行事である修学旅行を、より望ましい形で実施するための理論と実際を研究する会であり、昭和三十一年結成以来、専用列車の創設、特急料金の割引、修学旅行国庫補助金の増額、各県の連絡調整、さらには研究調査、研究発表大会等々、数多くの成果を積み重ねて今日に及んでおるわけでございます。先輩各位、特に本日ご臨席

の全修協山本理事長には創立以来の並ならぬご苦労と、現在の各位の努力のもとに、営々と築かれ引き継がれて、二十五年の歴史を誇るものであります。この関係委員の大きな存在意義を、私たちはあらためて確認し、何が今私どもに課せられているのか、その課題にどう対処すべきなのか、中学校教育の本来的な姿にたかえって、思いを新たにいたすべき時と存じます。

いじめ、暴力、登校拒否、過度の塾通い等に象徴される中学校教育の荒廃が叫ばれている昨今ならば、ふだんの学校内教育は勿論、校外学習の場としての修学旅行も、いかにしてそれに適切に対処し、積極的な企画実践をするか、それによって、揺れ動く青年前期の中学生たちに豊かな心を育成し、たしかに人生の生き方を与えなければならぬ、大きな意義や使命を思うべきであります。

全国のすべての中学校が、修学旅行も、その時代の教育界、社会情勢の変化に影響され、また、それを反映して、時々改善と創意工夫を図るべきは申すまでもありません。

昨年度本会は、無事所期の目的を達成しておることができました。これもひとえに先生方の絶大なご努力、ご支援によるものであり、厚く感謝申し上げる次第でございます。と同時に、全修協の先生方の全面的な指導と援助の賜であり、皆様とともに心からお礼を申し上げたいと存じます。

どうか、この総会・研究協議会が、目的を達して成功裡に終了し、新しい出発に相応

62年度各修学旅行委員会役員名

(各中学校長・敬称略)

- 近畿地区公立中学校修学旅行委員会  
会長 浜田宏作 (大阪・富田林三) 副会長 土居克己 (兵庫・大社) 佐々木達三 (京都・長岡四) 会計 西田恒治 (奈良・桜井西) 監査 勝見一 (和歌山・朝日) 委員 植山昇 (大阪・箕面六) 三浦茂男 (大阪・長野) 村山幸幸 (都・男山三) 顧問 山本種一 (別全修協) 参与 谷田隆兵衛 (宝塚市教育長、大友恭) (別全修協) 特別委員 南裕之 (同) 事務主任 曾田震五 (同)
- 東海二県中学校修学旅行委員会  
委員長 荻原克己 (春日井・中部) 副委員長 堀光一 (四日市・中部) 坂原代表 名和藤太郎 (岐阜・梅津) 名古屋代表 後藤幾郎 (平針) 尾張代表 三輪田育夫 (七宝・北三河) 代表 加茂健三 (岡崎・城北)
- 事務局長 今井幸男 (別全修協)
- しいものとなりますよう、ご協力をお願いする次第でございます。最後に、本会開催にあたって、準備、運営等たいへんお世話になりました千葉県中学校長会、修学旅行委員会、心から御礼申し上げて、あいさつに代えさせていただきます。
- (前橋本県中学校長会長・宇都宮市立泉丘中学校長)
- なお、この総会をもって、飯野昭氏は関東地区公立中学校修学旅行委員会の会長を退任され、石川敏夫氏が会長に就任されました。
- (編集部)
- 全日中学校長会に戸張氏  
全日本中学校長会では、つぎのとおり会長が交代した。退任 鈴木誠太郎氏 (前東京都世田谷区立深沢中学校長) 新任 戸張敏雄氏 (東京都新宿区立戸山中学校長)

修学旅行の楽しいお食事

箱根彫刻の森美術館内  
レストラン コンポート

◇500名様迄、ご利用いただけます。  
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。

〒250-04  
神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121  
☎0460(2)1141(代表)

昭和61年オープン  
ほくれい  
新館増築「北嶺」  
(130名収容)

座禅体験で  
"心、リフレッシュ!!"

本館	17室	194帖	120人
比叡	28室	260帖	200人
北嶺	15室	160帖	130人
計	60室	614帖	450人

〈国際観光旅館〉  
比叡山 延暦寺会館

TEL 0775-78-0047・0554  
TEL EX 5464-917  
FAX 0775-79-5053

楽しい修学旅行を、  
より安心  
出来るものに

「国内旅行傷害保険」  
修学旅行用をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社  
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-212-6211(代表)

育てる心は、みんな同じ。

●営業受付時間  
9:00~17:00 (3月16日~11月15日)  
9:30~16:00 (11月16日~3月15日)

●修学旅行料金 高校生 1,000円  
中学生 700円、小学生 600円  
ガイドラジオ  
バス1台につき 1,000円

別府あじむ草原  
アフリカンサファリ  
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑  
☎(09784) 8-2 3 3 1(代)